憩いと安らぎをお届けする　綾部市立病院

Ayabe City Hospital

広報 おあしす

2016.9
vol.39

医師の健康アドバイス　C型慢性肝炎

大規模災害訓練

市民公開講座　「知っ得！　糖尿病」

専門外来　下肢救済外来(仮称)・糖尿病合併症外来開設

information（インフォメーション）

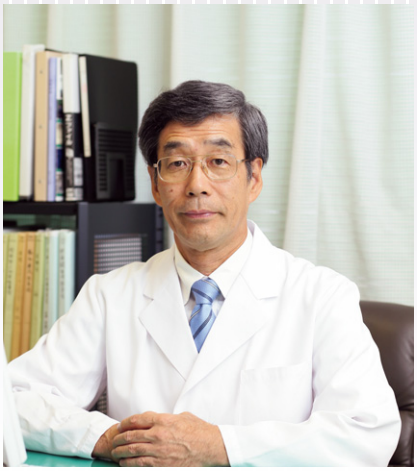
近隣医療機関のご紹介
志賀整形外科クリニック

リレーエッセイ　vol.18
まもる鍼灸治療所　芦田　雅樹氏

長野県　八ヶ岳高原　撮影：志賀　浩治副院長

発行人：鴻巣　寛　編集：綾部市立病院広報委員会　発行日：2016年9月

• 日本医療機能評価機構認定病院　• 基幹型臨床研修指定病院



院　長
鴻　巣　　寛

「全員参加」の防災訓練を実施して

この夏、綾部市立病院は開設26周年を迎えました。これまでご支援ご協力をいただきました多くの方々に心から感謝申し上げます。これからも地域医療の発展を願い更なる努力を重ねて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、ここ数年、厳しい猛暑と頻繁な豪雨など異常気象が続き、また全国各地で地震が頻発するなど、予想外の自然災害に見舞われることが多くなりました。当院では、いざという時に備えて毎年防災訓練を実施していますが、今回、綾部市上林川断層に巨大地震が発生し、多くの被災者が搬入されるという想定で、総勢200名余りのスタッフを動員して実施しました。発生直後の体制づくりに始まり、トリアージ訓練、殺到する傷病者受け入れの対応など、非常に実践的な訓練となりました。そして、情報伝達、指揮命令は迅速かつ的確にできたか、また各部署スタッフがチームとして適切に行動できたかなど、それぞれの役割を再認識する大変良い機会となりました。このような緊急事態において問われるのは病院の対応能力です。それは現場スタッフのチーム力と機動力によるところが大きく、日頃から良好なコミュニケーションが取れる職場づくり、そして向上心あふれるスタッフを生む環境づくりに努めることの大切さを改めて痛感しました。これからも地域の拠点病院として、行政、消防のほか各関係機関との連携をより一層強化し、あらゆる災害に的確に対応できるよう万全の体制で臨んで参ります。

医師の健康アドバイス

C型慢性肝炎

はじめに

C型慢性肝炎は、C型肝炎ウイルスに感染することにより発症する病気です。日本には約150～200万人もの患者さんがいると考えられていますが、自覚症状がほとんどないため、感染していることに気づいていない方が少なくありません。C型慢性肝炎は、治療しないで放置すると肝硬変、さらには肝がんへと進む可能性があります。

感染経路は？

C型肝炎ウイルスは血液を介して感染します。感染している人の血液が他の人の血液の中に入ることで感染するもので、空気感染や経口感染はありません。現在わが国の感染者の多くは、C型肝炎ウイルスが発見される前の輸血や血液製剤、あるいは注射の使い回しなどで感染したものと考えられています。現在では対策が取られていて、このような原因で新たに感染することはほとんどありません。

以下の方々は、C型肝炎ウイルスの感染の可能性が一般の方より高いと考えられますので検査を受けられることをお勧めします。

a. 1992（平成4）年以前に輸血を受けた方
b. 大きな手術を受けた方
c. フィブリノゲン製剤を投与された方
d. 血液凝固因子製剤を投与された方
e. 長期に血液透析を受けている方
f. 臓器移植を受けた方
g. 薬物濫用者、入れ墨をしている方

図1　C型慢性肝炎の自然経過

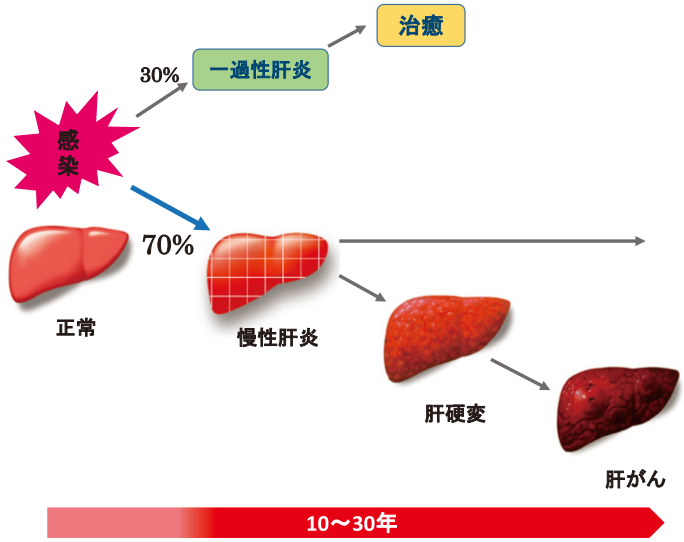
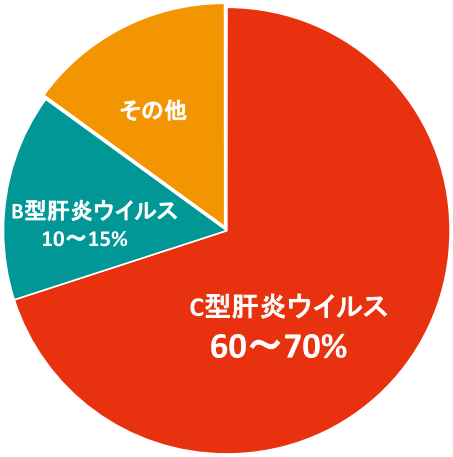


図2　肝がんの原因



h．ボディピアスを施している方
i．C型肝炎ウイルス感染者の家族を持つ方
j．過去に健康診断等で肝機能の異常を指摘されていて、その後肝炎の検査を受けていない方

治療しないとどうなりますか？

C型肝炎ウイルスに感染すると、約3割は自然免疫によりウイルスが体内より排除され治癒しますが約7割は徐々に病気が進行し治療しないと10〜30年でその3〜4割が肝硬変、さらに肝がんに移行するといわれています(図１)。

肝硬変は長期間の炎症で肝臓の細胞が壊れ、それを埋める形で線維成分が増加し、肝臓が硬くなってしまった状態です。肝硬変になると肝がんが発生しやすくなるほか、食道静脈瘤の破裂や肝性脳症など、生命に関わる重大な合併症も起こりやすくなります。

わが国では肝がんで年間約3万2,000人が亡くなられていますが、肝がんの約6〜7割はC型肝炎ウイルスが原因であり(図２)、C型慢性肝炎を治療することが肝がんを予防することにつながります。

治療法について

1992年以後インターフェロンの注射による治療が広く行われてきましたが、インフルエンザ様症状やうつ症状などの特有の副作用があり、高齢者やうつ病の患者さんではインターフェロン治療が受けられませんでした。C型肝炎ウイルスには遺伝子の種類により日本では1型、2型の2種類あり、日本での約７割は1型の患者さんです。1型の方はインターフェロン治療が効きにくく約5割の患者さんでしか治癒できませんでした。2011年11月にC型肝炎ウイルスの蛋白質を直接阻害する経口薬が登場して以降、飛躍的に治療が進歩し現在では1型ならびに2型とも95%以上の患者さんが12週間の経口薬で治せる時代になりました。副作用が少なくインターフェロン治療が困難であった高齢者やうつ病の患者さんにも使用でき、安心して外来通院で治療を受けて頂けます。

最後にC型肝炎でお悩みの患者さん、今こそ外来受診して治療されてみてはいかがでしょうか。

消化器内科　部長　石井道明（いしい みちあき）

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会認定肝臓専門医

災害訓練

〝全員参加型〟大規模災害訓練を実施

2016年7月13日(水)　17:15～18:45

目　的

〝大規模災害時等発生時における病院の役割と防災訓練の重要性を再認識する〟

従来の訓練では主に医療者が行う応急救護に関することが中心でしたが、今回の訓練では事務職員を含む全病院職員がそれぞれの役割を果たせるようになるために〝全員参加型〟の訓練を実施しました。

参加者に配布した訓練パンフレット

想　定

■上林川断層による震度６強の地震が平日の朝8：45頃発生

■地震による病院自体の被災はなし(ライフライン正常)、院内は多くの一般外来患者さまで混雑している状態

訓練参加者は、スタッフ役が約100人、模擬患者とその家族が43人、配役のない職員も見学者として参加し、総勢200人以上の規模となりました。

訓練を終えて

今回は事前の役割分担を決めて行いましたが、見学者として参加した職員にとっても全体の流れや職種毎の役割を再認識することができ、大変有意義な訓練となりました。また、これまで医療者の傍らで右往左往していた事務職員にとっても、「自分達が患者さまと医療者のためにやるべきこと」を明確にすることができ、病院職員として力を発揮することができました。

今後もどのような災害にも慌てることなく対応できるよう継続して訓練を行っていきたいと思います。

医事課長　鈴木（すずき）　良二（りょうじ）

３つの場面に分けて

【場面１】

発災直後の体制・対応に関する訓練

災害対策本部の設置から始まり、本部からの指示にて一般外来中止による外来患者さまの帰宅誘導、被災者の受け入れ・救護場所の設置を行いました。今回は、災害対策本部としてのシナリオを作らず、検査室や薬局等の担当リーダからの状況報告をもとに今後の体制決定を行いました。

【場面2】

＊トリアージ訓練

「１次トリアージ(篩い分け)」「２次トリアージ(選別)」を高升副院長の解説を交えながら、実際にトリアージを行いました。

【場面3】

殺到する傷病者の受け入れに関する訓練

正面玄関～内科外来～整形外科外来待合を使用して、約40名の傷病者の受け入れから応急救護までを行いました。

医事課では今回の訓練に先立ち、何度も打ち合わせと模擬訓練を実施し、課題解決に向けて①災害時業務を集約した『アクションカード』の作成(以前から医療者向けのものはあったが、事務職員向けのものを新たに作成)②患者情報の正確かつ迅速な集約のために『患者情報カード』を作成しました。その成果あり、訓練ではスムーズな患者誘導と医療者の支援を行うことができました。

全患者の応急救護が終了したところで災害対策本部が受け入れ患者数などの最終報告を行い、本部長の終息宣言にて訓練を終了しました。

＊トリアージとは、傷病者をその緊急度・重傷度に応じてクラス分けすること。限られた医療資源のもとで最大多数の傷病者に最善をつくす目的で行われる。災害時のトリアージは2段階あり、第１段階はsieve(篩い分け)でSTART(Simple triage and rapid treatment)式を用いる。第２段階はより確実に分けるsort(選別)であり、第１段階で赤の傷病者の中から、緊急度・重傷度の高い傷病者に搬送・治療の優先順位をつけていく。

糖尿病市民公開講座

「知っ得！糖尿病」

糖尿病は世界的に拡大を続け、今では、世界で2億4600万人が抱える病気となりました。
わが国でも糖尿病患者と糖尿病の可能性を否定できない人の数は、2012年2050万人となり、15年間で680万人増加しました。
当院では、糖尿病予防を目的に、2014年から市民公開講座「知っ得！糖尿病」を開催しています。

【「知っ得！糖尿病」とは】

糖尿病予防を目的とした、市民の為のお役立ち講座です。
講座の構成は、測定・体験・講演の3本柱です。
昨年は156名の市民にご参加頂き大盛況となりました。
今年は、混雑対策にも十分配慮いたしました。

【今年（2016年度）の紹介】

■開　催　日　時／11月19日（土）　10:00～15:00
■参　　加　　費／お弁当代（注文されない方は不要）

【お弁当申込み方法】

電　話　受　付／0773-43-0123
糖尿病市民公開講座事務局
申込用紙・受付／綾部市立病院　1Fインフォメーション
申 込 み 締 切／平成28年11月9日（水）

【主催者から一言】

目玉は、全てです！中でも、血管年齢測定、お弁当講座、老化予防の運動の講演はお勧めです。特に今年は、新しくメディア情報を斬るというディスカッション形式の講演を行います。これは、医療専門職がテレビ情報についてQ＆A形式で解説するというコーナーです。皆さんの関心の高いところであり、とても面白いと思います。
参加人数に制限はありません。時間の許す限りお楽しみくださいませ。

企画：糖尿病看護認定看護師　木下（きのした）　淳（じゅん）

今年もやります！

11月19日（土）
10:00～15:00
開催場所
綾部市立病院
東館1F.2F

お知らせ

2016年11月14日より

下肢救済外来(仮称)と糖尿病合併症外来を開設します

【下肢救済外来(仮称)】

近年、足のトラブルに悩まれる方が増えています。糖尿病や下肢動脈塞栓症などにより、潰瘍を起こし足指や足を失う方も少なくありません。自分らしく活き活きとした生活を送るために足はとても大切です。下肢救済外来(仮称)は足のトラブルに悩まれている全ての方を対象にした外来です。専門治療が必要な場合は、皮膚科医、循環器内科医、血管外科医また大学病院とも連携をとり診療を行います。

あなたの大切な足を守る窓口と思って頂けると幸いです。足のトラブルで悩まれたとき是非ご利用ください。お待ちしております。

【糖尿病合併症外来】

糖尿病は、神経障害、網膜症、腎症、壊疽、脳卒中や心血管疾患をはじめ、全身の合併症を伴うことがある疾患です。糖尿病合併症外来では、糖尿病専門医が地域の医院、診療所から紹介を受けた糖尿病患者様の合併症を各種の検査によって診断し、認定看護師が合併症に応じた療養のアドバイスを行います。また、紹介医院には治療の提案も行います。

〝地域の病・診一体で糖尿病患者様を診る〟その役割の一端を綾部市立病院で担う事が出来ればと考えています。患者様、近隣の医院、診療所、病院の先生方、どうぞ宜しくお願い致します。

■診察日：第2、4月曜日
- 下肢救済外来(仮称)／9:00～12:00
- 糖尿病合併症外来／午前＝検査・午後＝診察

■場　所：内科5診または6診で調整中

■受　付：
- 下肢救済外来(仮称)／電話予約制(当日予約も可) TEL0773-43-0123 (内科5診または6診　14:00～16:00の間)
- 糖尿病合併症外来／医院からの紹介による完全予約制

■担　当：糖尿病専門医　千丸　貴史、糖尿病看護認定看護師　木下　淳

Information(インフォメーション)

糖尿病教室・試食会のご案内

詳しい案内チラシは外来インフォメーションコーナー、栄養相談室前、内科4診中待ち合いにございます。

教室の内容は毎回変わりますので、いつからでもどなたでもご参加いただけます。

■開催場所：当院東館 2階 講堂

	10月	11月	12月	1月
糖尿病教室 ・無料、申込み不要 13:00～15:00 自由参加	31日(月)	28日(月)	19日(月)	30日(月)
試　食　会 ・実費、申込み要（先着15名） 12:30～14:30	17日(月)		12日(月)	16日(月)

【試食会のお申し込み：0773-43-0123　栄養科（内線191）】

今年度の教室は13:00～15:00となっております。

生活習慣病予防教室のご案内

当院では糖尿病をはじめとする生活習慣病予防の為の教室を開催しています。検査結果の見方や、食事・運動などの日々の生活を“チェンジ”できるワンポイントアドバイスを提供できたらと思っております。申し込みは不要ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

- 開催日時：平成29年1月28日（土）午前10時～12時
- 開催場所：当院 東館 2階 講堂
- 問 合 せ：0773-43-0123　栄養科（内線191）
- 参 加 費：無　料
- 申 込 み：不要、自由参加
- そ の 他：軽い運動を行いますので、動きやすい服装でお越しください。

近隣医療機関のご紹介

志賀整形外科クリニック

整形外科・外科・リウマチ科・リハビリテーション科

院長　志賀　俊樹

■外来診療時間（受付11:30まで）

外来診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝日
8:30～12:00	○	○	○		○	○		
16:00～19:00	○	○	○		○			

〒623-0053　京都府綾部市宮代町15番地
TEL.0773-40-2188　FAX.0773-40-2189

昭和62年信州大学医学部を卒業後、京都府立医科大学整形外科に入局し、その後京都府内の関連病院にて勤務し、平成21年6月から父の診療所を継承する形で、志賀整形外科クリニックを開院いたしました。綾部市立病院には、オープニングスタッフとして約1年9ヶ月お世話になり、現在も、週1回（木曜日）非常勤医師として勤務させていただいております。近年、高齢化社会にともない年々増加傾向にある骨粗鬆症や現在も難治性疾患とされる関節リウマチなどの関節疾患を専門として、健康寿命の改善、そして一人でも多くの寝たきり患者の減少を最大の目標とし、微力ながら地域医療に貢献したいと考え、日々の診療を行っております。今後とも御指導よろしくお願いいたします。

リレーエッセイ vol.18

まもる鍼灸治療所　芦田（あしだ）　雅樹（まさき）

心（こころ）の音（ね）

これまで大阪の都市部にて、地域の医療機関や地域包括支援センター、介護事業所と連携し、鍼灸マッサージによる在宅ケアや、デイサービスでの機能訓練指導、「いきいき百歳体操」と呼ばれる住民主体の健康体操への技術支援等行う中、医療・介護サービスの狭間にいる利用者や患者の方々に気づいた事があります。

予防のための運動や残存機能を生かした運動に対するサービスが多い昨今、皮肉なことに要介護４や５など、重度な身体状況になると、手足の拘縮や身体全体のこわばりに対する医療・介護サービスは、依然不十分であり、仕方がないということで放置される事が多いと思われます。しかし、患者本人は今まで出来た事が出来なくなり、身体の痛みや心の痛み、苦しみを感じておられます。

それに加え、同居家族は、痛みや拘縮の影響で、排泄や更衣介助、食事介助などが困難になり、住み慣れた自宅での介護が困難な状況になっていく現状があります。

綾部市の人口は、年々減少傾向にありますが、要支援・要介護者は増加する傾向です。厚生労働省より、2025年を目途に地域包括ケアシステムへの構築化が課題とされており、綾部市でもシステム構築化の為、様々な取り組みが行われています。

地元で開業した今後も、これまでの経験を通じ、鍼灸マッサージ師として自分たちができることを、医療機関や行政、地域包括支援センター、地域の方々と連携し、地域に貢献していきたいと思います。

綾部市の現状

人口推計　平成 28 年　33,369 人
　　平成 37 年　29,596 人（3,800 人減）
　　平成 37 年には 65 歳以上が 39.3%、75 歳以上が 25.2%（4 人に 1 人）
介護保険被保険者数の推計　平成 28 年　22,653 人
　　平成 37 年　20,477 人（2,200 人減）
要支援・要介護者数の推計　平成 28 年　2,915 人
　　平成 37 年　3,236 人（300 人増）

次回は、あやべ印刷株式会社　梅原　哲史さんです。

外来診療担当医師表

平成28年9月1日現在

※印は原則予約制です。各診察室でお申し込みください。お電話でのご予約は14:00～16:00の間にお願いいたします。
（外科、泌尿器科、精神科は12:00～14:00の間にお願いいたします）。

曜日		月		火		水		木		金	
診療科名		外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師
内科	1診	内科一般 消化器・胃腸	高　升 （緩和ケア）	内科一般 消化器・胃腸	長谷川大	内科一般 循環器	志　賀	内科一般 消化器	高　升	内科一般 消化器	時　田
	2診	内科一般 循環器	河　野	内科一般 循環器	小　島	内科一般 消化器・胃腸	長谷川大 （緩和ケア）	内科一般 循環器	志　賀	内科一般 循環器	河　野
	3診	内科一般 循環器	足　立	内科一般 消化器・肝臓	石　井	呼吸器 （9:00～）	※ 長　崎	内科一般 循環器	足　立	内科一般 消化器・肝臓	石　井
	4診	内科一般 内分泌・糖尿病 （9:00～）	※ 江　川	内科一般 内分泌・糖尿病	千　丸	内科一般 循環器	小　島	内科一般 内分泌・糖尿病	千　丸	－	
	5診	ペースメーカー外来 第2・3・4週 （13:30～）	※ 小　島	神経内科 （9:00～）	※ 木　村	－		神経内科 （9:00～）	※ 藤　並	神経内科 （9:00～）	※ 大　島
	6診	－		呼吸器 （9:00～）	※ 永　井	－		内科一般 消化器	長谷川晴	－	
外科	1診	呼吸器 外科一般	石　原	乳腺外科	藤　原	外科一般 消化器	多加喜	呼吸器	下　村	呼吸器	下村／石原
	2診	外科一般 消化器	鴻　巣	外科一般 消化器	永　田	外科一般 消化器	沢　辺	外科一般 消化器	岡　山	外科一般 消化器	鴻　巣 （緩和ケア）
	3診	－		－		血管外科 （10:30～）	（第3のみ） ※沼　田	禁煙外来 （隔　週）	※ 担当医師	－	
	午後	－		－		－		乳腺外科	※藤　原	－	
整形外科	1診	徳　川		担当医師		徳　川		志　賀		小　池	
	2診	清　水		担当医師		小　池		担当医師		清　水	
	3診	－		－		担当医師		－		担当医師	
小児科	午前 1診	戸　澤		杉　本		多加喜望		杉　本		戸　澤	
	午前 2診	福　原		多加喜望 循環器	※河　井	全		戸　澤		友　安	
	※午後 1診	慢性疾患 ・神経	戸　澤	慢性疾患	戸　澤	BCG 慢性疾患	多加喜望 杉　本	予防接種	多加喜望	慢性疾患	杉　本
	※午後 2診	－		1ヶ月健診	多加喜望	慢性疾患	多加喜望	－		－	
産婦人科※	1診	荻　野		野　口		志　村		辻		青　山	
	2診	－		－		（荻　野）		－		（荻　野）	
泌尿器科※	1診（9:00～）	荘　子		藤　原		小　山		小　山		藤　原	
	2診（10:00～）	小　山		小　山		荘　子		藤　原		荘　子	
眼科		高　家		富　田		（10:30～）	担当医師	高　家		富　田	
精神科※（9:00～）		月2回 小　野		中　前 （緩和ケア）		物忘れ外来	阿　部			水　原	
耳鼻咽喉科		長谷川		長谷川		長谷川		長谷川		担当医師 受付時間 11:00まで	
		午後超音波	※長谷川	－		－		午後超音波	※長谷川		
皮膚科	1診	（9:00～）	塩　見			（9:00～）	塩　見	（9:00～）	山　田	（9:00～）	辻
	2診	（10:00～）	清　原			－		（11:00～）	加　藤		

看護外来※						
	名称	ストーマ外来	糖尿病療養指導・フットケア	リンパ浮腫外来	糖尿病療養指導・フットケア	助産外来
	時間	（9:30～15:00）	（8:30～13:00）	（13:00～16:00）	（8:30～17:15）	（9:00～17:00）
	場所	㉒ 外科3診	⑦ 看護外来	㉒ 外科3診	⑦ 看護外来	⑳ 産婦人科外来
	名称	腎不全看護外来	助産外来	緩和ケア外来		
	時間	（10:00～11:00）	（9:00～17:00）	（12:30～15:30）		
	場所	⑦ 看護外来	⑳ 産婦人科外来	⑦ 看護外来		
	名称		緩和ケア外来	認知症看護・介護外来 ※第4のみ		
	時間		（13:00～16:00）	（8:30～16:00）		
	場所		㉒ 外科3診	⑭ 内科6診		

※初診の方は、まず担当診療科での診察が必要です。
- ストーマ外来・リンパ浮腫外来…外科一般
- 糖尿病療養指導……内分泌・糖尿病
- 腎不全看護外来……泌尿器科（月曜日）
- 認知症看護・介護外来……精神科
- 緩和ケア外来……担当科

※助産外来は不要。

病院への交通

JR山陰本線「綾部駅」下車、北口より徒歩10分
南口から あやバス で約5分「市立病院前」
バス停下車

外来診察のご案内

☆診察日　月～金曜日
☆休診日　土・日曜・祝日

☆受付時間
午前8時～　午前11時30分
（自動再来受付機／午前7時30分より稼動）

☆診察開始時間 午前8時30分～

☆人間ドック（半日）　月～金曜日

☆脳ドック　① 8:30～ ② 9:00～ 月～金曜日
オプションの場合 ①13:00～ ②13:30～

☆血管ドック（9:00～）第3水曜日

面会時間について

平　日
午後2時～午後7時

土・日・祝日
午後1時～午後7時

綾部市青野町大塚20番地の1
☎ 0773-43-0123
FAX 0773-42-7870

綾部市立病院 ホームページアドレス http://www.ayabe-hsp.or.jp

VEGETABLE OIL INK